

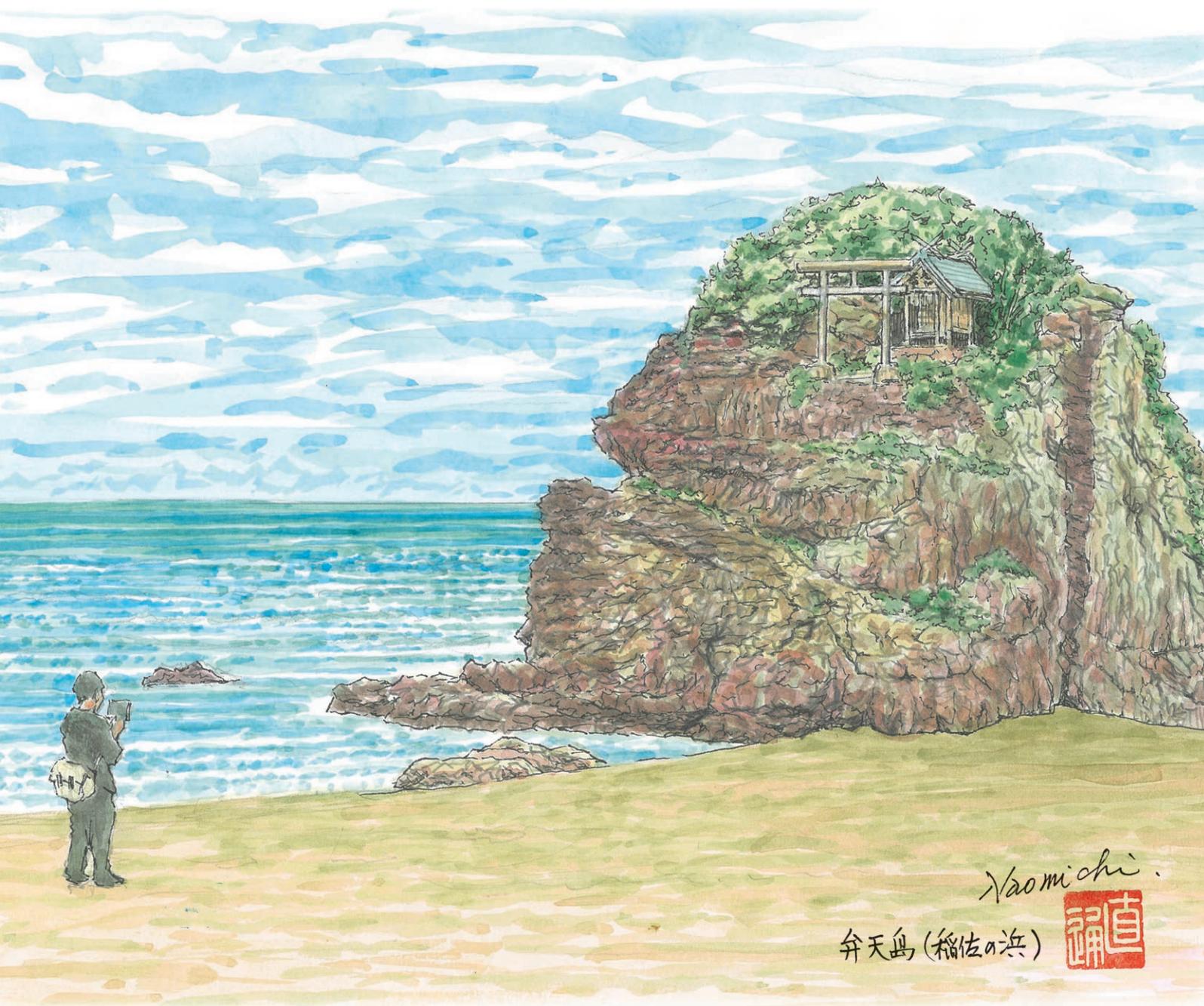
JAしまねびより

2018

7

July Vol.28

特集 JALまね 第4回通常総代会開催



Naomichi

弁天島 (稲佐の浜)



通常総代会特集



議長団（石原総代（左）、村上総代）



当日は最終集計で、総代定数1,000人（欠員8人）に対し、959人（本人出席547人、委任状8人、書面出席404人）の出席。議長団に、石原吉徳氏（雲南地区本部）、村上義成氏（隠岐地区本部）の両氏を選出し、各地区本部総代から意見、要望が出される中、前年度事業報告、新年度事業計画など全議案が可決承認されました。

竹下組合長が「政府が示す農協改革集中推進期間の期限が31年5月に控えており、JA組織は重要な局面を迎えている。JAしまねは引き続き、事業改革や運営体制改革を含めて、自己改革を加速化し、将来に渡って農家組合員をはじめ地域住民の皆様から、信頼され、必要とされ、利用していただけるJAとなるよう、誠心誠意努力する」とあいさつ。来賓の溝口善兵衛島根県知事から、「JAしまねは、担い手との度重なる話し合いや、1JAの強みである資材の共同購入による価格の低減に努めるなど、農業生産の拡大と農業所得の増大に向けて、自己改革に積極的に取り組んでいる。県としても農業者の皆様が、今後も安定した営農を続けられるよう、JAしまねと連携していく」との言葉をいただきました。

また、組合員の代表としてJAの発展に貢献され、昨年ご退任された総代の皆様方のなかから、長きにわたりご尽力いただいた方々の功労者表彰を行いました。

本総代会にて付議した議案は次のとおりです。

- 第1号議案 平成29年度事業報告及び剰余金処分案について
- 第2号議案 平成30年度事業計画の設定について
- 第3号議案 運営体制改革の取り組みについて
- 第4号議案 定款の一部変更について（特別決議案）
- 第5号議案 監事監査規程の全部改正について
- 第6号議案 信用事業規程の一部変更について
- 第7号議案 株式会社JAアグリ島根への出資について
- 第8号議案 一般社団法人JAバンク相談所への加入について
- 第9号議案 「一般社団法人ファームサポート美郷」の設立への参画について
- 第10号議案 子会社の設立及び出資について
- 第11号議案 平成30年度指導事業に要する経費の賦課及び徴収の方法の決定について
- 第12号議案 退任理事に対する退職慰労金の支給について
- 第13号議案 平成30年度における理事の報酬額の決定について
- 第14号議案 平成30年度における監事の報酬額の決定について

平成29年度 事業報告

平成29年度は、安倍内閣の進めるアベノミクスにより、雇用・所得環境の緩やかな改善の動きは見えつつあるものの、国内総生産（GDP）の6割を占める個人消費は依然弱く、デフレ脱却は実現しないまま、景気回復には不透明な面が見られました。

また、海外では北朝鮮による核実験やミサイル発射、シリア内戦にかかわる各国の動向、米国防務省の対外政策による混乱など、国際的な政治・経済の先行きも不透明感が高まっています。

TPP（環太平洋経済連携協定）については、米国防務省が離脱を表明したことから、アメリカを除く11カ国で協定を発効させることで大筋合意し、本年3月にTPP11協定が署名されました。また、EPA（日EU経済連携協定）については、農畜産物では約82%の品目で関税を撤廃することを合意内容として、平成29年12月に交渉が妥結しました。今後、米国の二国間交渉の動向も注視し、引き続き日本の「食」と「農」の重要性をアピールする運動を展開していく必要があります。

組織情勢では、農林水産省が平成28年度から平成29年度にかけて総合JAと認定農業者に対してアンケートを行いました。総合JAに対しては自己改革の取り組み状況について、認定農業者等に対してはJAの自己改革の取り組みをどのように評価しているのかについて調査した結果、自己改革の取り組みに対する認識について、JAと認定農業者の間で乖離があることが浮き彫りとなりました。今後は、引き続き自己改革の取り組みを着実に実践することはもちろん、広報活動

にも重点を置き、自己改革の取り組みを広くPRすることで組合員やJAグループ外部からの評価を高めていくことが不可欠となっています。

こうした状況の中、平成29年度は「農業戦略実践3カ年営農計画」2年目として、営農指導と経営指導を通じて、組合員・生産者の所得向上に向けた取り組みを実施しました。

取り組みの結果、販売品販売・取扱高が38,129百万円、購買品供給高が34,014百万円、貯金残高が984,693百万円、貸出金残高が299,671百万円、長期共済保有高が3,541,460百万円となりました。また、財務状況の安全性を示す指標である自己資本比率は14.93%となりました。

収支面については、事業利益が1,016百万円、経常利益は2,189百万円となり、当期剰余金は609百万円となりました。

主な事業活動と成果の詳細については次ページののとおりです。

■貯金残高	984,693百万円
■貸出金残高	299,671百万円
■長期共済保有高	3,541,460百万円
自己資本比率 14.93%	
■事業利益	1,016百万円
■経常利益	2,189百万円
■当期剰余金	609百万円

PickUP

第3号議案 「運営体制改革の取り組みについて」

目的
業務内容が高度化・専門化している事業環境下、JAの基本方針の審議決定と組合員の意思反映機能を担う非常勤理事と、事業の企画立案と迅速な業務執行機能を担う常勤理事、それぞれの責務の明確化と一層の役割発揮に向け、理事会の運営方法を含めた運営体制の改革に取り組みます。

主な内容

- ① 現行33名の常勤理事体制を、「半減」を目安に見直します。
- ② 現行32名の非常勤理事体制を、必要最小限に見直します。
- ③ 地区本部運営委員会の役割・位置づけを再検討し、構成員や運営方法などを統一的に再構築します。
- ④ 監事定数を必要最小限に見直します。
- ⑤ 運営体制については、これまでの検討経過を踏まえ、今回の改革以降も継続的に検証・検討を行い、将来的な経営管理委員会制度の導入に向けて、今回の改革以降も継続して協議を行います。

本議案の今後のスケジュール

時期	実施事項等	実施内容等
平成30年		
6月	○第4回通常総代会	○運営体制改革への取り組み承認
7月		↑ ↓ 具体的な内容の策定・調整等 ・総代等との会議、意見集約 ・役員による改革案の検討・策定
8月		
9月		
10月(中～下旬)	○地区別総代説明会	○改革案の説明等
11月上旬	○臨時総代会	○運営体制改革の内容決議 (※定款変更を含む)
平成31年		
6月	○第5回通常総代会	○役員改選 ○新体制スタート

組合員の状況

(1) 組合員数

(単位：組合員数)

資格区分		当期首	当期増加	当期減少	当期末	
正組合員	個人	64,865	2,677	2,473	65,069	
	法人	農事組合法人	196	14	1	209
		その他法人	203	17	3	217
	計	65,264	2,708	2,477	65,495	
准組合員	個人	165,484	3,578	4,780	164,282	
	農業協同組合	0	0	0	0	
	農事組合法人	24	0	3	21	
	その他の団体	1,889	17	38	1,868	
	計	167,397	3,595	4,821	166,171	
合計		232,661	6,303	7,298	231,666	

(2) 出資口数

(単位：口)

資格区分		当期首	当期増加	当期減少	当期末	
正組合員	個人	16,875,056	463,101	619,158	16,718,999	
	法人	農事組合法人	25,728	339	532	25,535
		その他法人	33,335	1,378	515	34,198
	計	16,934,119	464,818	620,205	16,778,732	
准組合員	個人	5,638,717	349,921	301,273	5,687,365	
	農業協同組合	0	0	0	0	
	農事組合法人	1,716	11	214	1,513	
	その他の団体	95,199	893	1,498	94,594	
	計	5,735,632	350,825	302,985	5,783,472	
処分未済持分		128,177	119,775	128,177	119,775	
合計		22,797,928	935,418	1,051,367	22,681,979	

適要：(1)出資一口金額

1,000円

(2)当期末払込済出資総額 22,681,979,000円

財務・事業成績の推移

(単位：百万円)

区分	項目	平成28年度	平成29年度	
財務	事業利益	1,050	1,016	
	経常利益	2,014	2,189	
	当期剰余金	1,295	609	
	総資産	1,104,465	1,092,634	
	純資産	77,982	77,986	
信用事業	貯金	994,007	984,693	
	預金	498,551	499,645	
	貸出金	308,072	299,671	
	有価証券	国債	82,394	80,375
		その他	88,894	87,015
	共済事業	長期共済保有高	3,659,406	3,541,460
短期共済新契約掛金		10,267	10,184	
購買事業	購買品供給高	34,092	34,014	
販売事業	販売品販売・取扱高	38,259	38,129	

(注1) 貯金は譲渡性貯金を含む。

(注2) 販売品販売高・取扱高は受託販売品と買取販売品の合計。

第4事業年度 剰余金処分

(単位：円)

1. 当期末処分剰余金	2,026,372,121
2. 剰余金処分額	1,346,744,329
(1)利益準備金	122,000,000
(2)任意積立金	1,000,000,000
農業振興積立金	100,000,000
農業災害積立金	100,000,000
教育研修充実積立金	100,000,000
信用事業システム開発積立金	200,000,000
BIS規制強化対応積立金	200,000,000
経営安定化積立金	150,000,000
施設等更新積立金	150,000,000
(3)出資配当金	224,744,329
3. 次期繰越剰余金	679,627,792

(注1) 出資配当金は年1.0%の割合です。

(注2) 次期繰越剰余金には、営農指導、生活・文化改善事業の費用に充てるための繰越額30,488千円と、地区本部業績還元のために繰越額200,000千円が含まれています。



平成29年度 主な事業活動と成果

販売事業

米穀は平成29年産の島根県における水稲の作況指数が102（前年104）となり、主食用予想収量は89,300トンで前年比2,000トンの減となりました。また、28年産米から導入した米の買取制度を29年産米も継続実施し、集荷数量は平成30年3月末現在で36,594トンとなり、出荷契約に対する集荷進度は92.4%、前年対比では97.9%となりました。

園芸

取引先をはじめ関係機関が一体となって取り組んだ結果、デラウェアは過去最高の単価となりました。また、平成28年度に整備した西条柿の冷蔵施設を拠点に、地区本部の枠を超えてあんぽ柿原料



を受け入れ、JAしまねの統一規格である「島根あんぽ」を中心に生産・販売拡大を行い生産者所得の向上に努めました。

畜産

和牛繁殖雌牛の増頭支援対策や繁殖農家の経営支援を目的とした県央地区畜産総合センター施設の整備による新たな預かり事業の開始、行政の支援により隠岐地区の家畜市場整備を進めました。また、肉牛の消費宣伝対策として新たなしまね和牛宣伝用ポスターの作成と枝肉の脂肪酸組成・食味分析を実施し、酪農家の経営支援を目的に酪農ヘルパー事業を開始しました。



資材

肥料・農薬・飼料について、水稲肥料・農薬の銘柄統一や値下げを進め、低価

格での資材供給を行い、「農業者の所得増大」の実現に向けた取り組みに努めました。

信用

農業所得増大応援キャンペーンなどにより、農業者の設備投資等を支援するとともに、子育て応援宣言によるローン金利優遇サービスや島根の農畜産物をPRする貯金キャンペーンを実施し、地域のくらしと農業を支援しました。



共済

共済事務センターの設置により事務処理の効率化、迅速化を図り、利用者満足度の維持・向上に努めるとともに、子育てフェスや子ども倶楽部等を通じた次世代対策を展開し、地域への「安心」「満足」の提供と信頼の獲得に取り組みました。

くらしの活動

安心して暮らせる豊かな地域社会の実現を目指し、女性部や青年組織と連携した食と農を基軸とした活動、家の光の購読拡大運動をはじめとした教育文化活動、JA女子大学の開催や児童を対象とした食農教育などを通じた「生きがい、ふれあいの場づくり」、健康に対する意識向上と体力づくりの促進などに積極的に取り組みました。



平成30年度 事業方針

農業振興

◆方針

平成30年度は「農業戦略実践3カ年 営農計画」の最終年度となる節目の年であり、組合員とともに「農業所得の増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」の実現につながる目標の達成に向けて取り組みます。

農政改革により平成30年産米から主食用米の生産調整は、農業再生協議会を中心とした体制で生産数量の目安提示を行うこととなり、JAとして複数年契約等の事前販売契約に基づいた主食用米の品種誘導や1・9mmふるい目への全面切り替え、粒厚肥大技術の普及により、島根米の品質向上・評価向上に努め、販売力の強化による生産者所得の向上を実現します。

生産調整による主食用米以外での水田利活用品目の普及が重要であることから、飼料用米の県内需給調整による安定取引の実現や園芸重点推進5品目への転換、集落放牧による和牛繁殖の拡大により農地の利活用促進をすすめます。

また、地域農業の担い手である認定農業者、集落営農、農業法人の運営、経営安定に向けた記帳代行やデータ提供による利便性向上と経営診断により経営の安定化対策や業務受託対策をすすめ、担い手とJAが一体となって地域農業の振興をすすめます。

◆重点事項

- ①「農業戦略実践3カ年営農計画」の実現
- ②平成30年産米以降の需要に応じた生産に向けた対応
- ③営農指導体制整備
- ④担い手支援
- ⑤農業経営管理支援
- ⑥労災保険加入支援
- ⑦JAしまね農業振興支援事業

全般

◆くらしの活動

くらしの活動では、「豊かでくらしやすい地域社会の実現」を目指して、女性部、青年組織をはじめ、組合員や地域住民の参加によるくらしの活動に取り組みます。取り組みに際しては、組合員アンケートの調査結果等を踏まえ、組合員の多様なニーズを把握するとともに、アクティブ・メンバーシップ（組合員が積極的にJAの事業や活動に参加すること）の確立を目指して、活動への参加機会の提供とともに、活動の質と参加者満足度の向上に努めます。

◆販売事業

しまねブランド商品として市場や卸に頼らない県産農畜産物の販売の強化

に取り組むとともに、生産基盤の維持・拡大を図るため、「農業戦略実践3カ年営農計画」に掲げた「販売を起点としたものづくり」の実現に向け、行動計画を策定し進捗管理を行うことにより、生産現場での営農指導と販売を連携させた実践策を講じます。

◆購買事業

農家組合員の営農を支え地域農業の振興に資するため、営農指導部門・販売部門・TACと一体となって効率的な購買事業を進め、農家組合員の生産コスト低減と組合員サービスの充実・強化に努めます。

また、組合員・地域住民の暮らしを支援し、時代の変化・多様なニーズに対応した商品の提供が行えるよう、生活購買事業・店舗購買事業・自動車燃費事業を積極的に取り組み、地域の活性化にも貢献するとともに、より一層のサービスの充実に努めます。

◆信用事業

「利用者満足度向上から事業利用拡大への循環をつくり、島根の豊かな農業と活気ある地域を守るJAバンク」の実現のため、JAバンク自己改革「3本の柱」の完遂を目指します。

低経済成長やマイナスイナス金利継続に伴いJAを含む地域金融機関の運用環境が厳しさを増すなか、コスト削減を図りながら、農業所得増大と地域活性化

に積極的に取り組みます。

また、JAとして営農経済事業に全力投球できるよう、信用事業運営の効率化をすすめるとともに、地域に貢献する金融サービスを積極的に展開します。

- 「JAバンク自己改革」3本の柱」
- ①農業所得増大と地域活性化に資する踏み込んだ対応
 - ②信用事業運営の効率化
 - ③農業と地域・利用者をつなぐ金融サービスの提供

◆共済事業

地域実態・ニーズをふまえたJA事業とJAくらしの活動の展開を図るため、共済事業では、組合員・利用者への「安心」「満足」の提供と信頼を獲得するため、事業実施体制のさらなる高度化及び平準化に取り組み、組合員・利用者はもとより、新規利用者拡大に向けた積極的な取り組みと、地域農業・地域社会への貢献を目的とした事業活動を展開します。

また、共済事務センターの機能発揮による事務の更なる統一化及び効率化を進めるとともに、支店担当者のスキルアップにより組合員・利用者サービスの向上に取り組みます。さらに自動車損害調査体制の再構築により組合員・利用者の満足度向上を図ります。

また「JAしまね共済事務センター」設置による事務の合理化及び効率化、自動車事故相談体制の充実強化を図り、「最良品質のサービス」提供を目指します。

功 労 者 表 彰

組合員の代表としてJAの発展に貢献された総代の皆様方のなかから、長きにわたりご尽力いただいた方々に、感謝と功績を讃え功労者表彰を行いました。

当日は各地区本部の代表者へ表彰を行いました。そのほかの、地区本部管内で受賞された皆様については、別ページをご覧ください。



各地区本部を代表して表彰を受けられた方々
(左から竹田重一氏、安部敏樹氏、岡田一夫氏、朝日照男氏、佐々木菊雄氏、向山剛之氏、杉原定氏、石橋敏一氏、日高勝明氏、藤若早男氏、永井安行氏)



功労者を代表してあいさつする竹田重一氏

- 功 労 者 表 彰 代 表 者 名 簿**
- (地区本部名) (表彰者名)
- | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---------|
| 西 | い | 島 | 石 | 斐 | 出 | 隠 | 隠 | 雲 | や | く | (地区本部名) |
| い | わ | 根 | 見 | 見 | 出 | 岐 | 岐 | す | す | に | (表彰者名) |
| わ | み | お | お | 銀 | 川 | ど | ど | 南 | ぎ | び | |
| み | 中 | お | 山 | 川 | 雲 | う | う | 崎 | き | き | |
| | 央 | ち | 川 | 雲 | | ん | ん | 南 | | | |
| 永 | 藤 | 日 | 石 | 杉 | 竹 | 向 | 佐 | 朝 | 岡 | 安 | |
| 井 | 若 | 高 | 橋 | 原 | 田 | 山 | 々 | 日 | 田 | 部 | |
| 安 | 早 | 勝 | 敏 | 重 | 剛 | 菊 | 照 | 一 | 敏 | | |
| | 男 | 明 | 一 | 定 | 一 | 之 | 雄 | 男 | 夫 | 樹 | |
| | 行 | 男 | 明 | 一 | 定 | 一 | 之 | 雄 | 男 | 夫 | |

第4回総代会 Q&A

質 問

担い手対策として、農業の魅力を発信したり、Uターン・Iターンを促進するなどのPR活動を、JAが率先して行う考えはないか。

回 答

新規就農に対しては、行政等と連携してPRを含めた取り組みを行い、毎年150人程度の就農に繋がっています。また、新規就農者が定着するよう、TACの巡回による経営支援などのサポートを行っています。

質 問

販売戦略室はどのような業務を担っているのか、各地区本部の実態を把握しているのか伺いたい。また「1円でも高く」販売するための具体的な戦略を伺いたい。

回 答

地区本部における営業のサポートを目的として、また、米穀・畜産・園芸の部門を跨いだ総合的な営業力の強化を目的として設置した部署となります。なお、立ち上がりと同時に、各地区本部で行われている販売方法などを調査・整理しています。

質 問

役員定数が削減となった際には、役員報酬や人件費などの費用面にどのような影響があるか伺いたい。

回 答

相応の影響が想定されますが、最終的な定数が決まっていない中ですので具体的な試算はお示しできない状況です。

質 問

●経営管理委員会とはどのようなものなのか、また導入のメリットを伺いたい。

運営体制の改革を進めることによって、本店へ権限が集約し、その結果地区本部の自主性や独自性が阻害されることを危惧する。

●運営体制を改革するのであれば、総代の体制や総代会の在り方についても併せて検討してはどうか。

回 答

県1JAのうち4JAが経営管理委員会を設置している現状のなか、その仕組みがどういったものなのかを今後研究していくものだとご理解ください。現状の理事会制をベースに、当JAの地区本部制を踏まえて、JALまねとしての運営の在り方を検討していきます。

この他にも幅広くご意見をいただきました。

／ チャレンジ ／ 「JA自己改革」



「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」の3つを基本目標に、JA自らが進める改革のことをJA自己改革と言います。JAしまね農業戦略実践3カ年営農計画の取り組みはもとより、食農教育や社会貢献活動等を通じて、地域活性化と住みよい地域社会づくりをめざします。

「農業者の所得増大」・ 「農業生産の拡大」への取組

● 農業振興支援事業

規模拡大や生産基盤の強化をはかる担い手への支援、新規就農者の育成確保、担い手の健康対策、園芸重点推進5品目の産地化、しまね和牛の増頭、島根米のレベルアップと差別化強化として1.9mmふるい目更新といった県域での戦略的な展開、地区本部の取り組みなどの農業生産の維持・拡大対策など、農家所得向上に向けた取り組みを展開しています。また、自然災害復興対策も実施しています。

支援事業を活用された組合員の皆様からは、「行政からの支援が受けられず困っていたが、支援事業により規模拡大が進められた」、「玄米の選別ふるい目を1.9mmふるい目に変えたことで玄米品質が良くなり1等米比率が拡大した」、「繁殖用雌牛価格が高騰しているが、JAからの支援で増頭が進められている」、「災害を受けたパイプハウスの再建ができ、営農活動が続けられる」といった声をいただいています。

● 重点5品目の推進

園芸重点推進5品目についても、島根ブランドの定着化、所得向上に向け販売力を強化するための取り組みを行い、栽培拡大に繋がっています。

作物名	取組内容
キャベツ	加工業務用向け栽培推進、水田の排水対策試験
たまねぎ	集落営農法人への作付推進、オール機械化体系に向け試験実証
ミニトマト	アンジェレの作型拡大試験実証
白ねぎ	点滴灌水システム・新品種・マルチ栽培といった新技術実証
アスパラガス	1年生栽培・高畝疎植栽培といった新技術実証、リース団地の実施

今後も、農業者の所得増大、農業生産の拡大に向け取り組みを強化していきます。



JAしまね農業振興支援事業 活用事例のご紹介

JAしまねでは、経営拡大に向けた基盤整備や機械等の更新対策、県域でのモデル事業を実施するために、「JAしまね農業振興支援事業」に取り組んでいます。

隠岐郡隠岐の島町 田中 修司さん



田中修司さん（30歳）は、隠岐郡隠岐の島町都万で、繁殖牛30頭を母親と2人で飼育しています。

幼少期から実家で牛を飼育しており、その影響を受け、畜産業に携わるため島根県立農林大学校へ進学しました。その後、出雲市佐田町の(有)ちくさん緑化、隠岐の島町の(株)だんだん牧場で畜産の仕事をしていましたが、実家の畜産業の経営規模の拡大のため、跡を継ぐ目的で平成28年に新規で就農しました。

平成28年にJAしまね農業振興支援事業「魅力ある産地づくり支援事業：しまね和牛増頭支援メニュー」を活用して繁殖牛4頭を導入。平成29年にも同メニューで繁殖用牛舎等の建設を行うなど、年々経営規模の拡大を図っています。

今後、経営規模をさらに拡大するために、施設の拡充だけでなく大型機械の導入も進め、経営基盤の安定を図り、少なくとも繁殖牛50～60頭規模にすることが目標です。

隠岐の島町は、牛突きなど伝統文化でも牛との関わりが多い土地柄です。そんな昔ながらの自然・文化の残る隠岐の島を、畜産業を通して守っていきたいと思っています。



理事会情報（5月30日開催）

協議事項

- ① 株式会社JAアグリ島根株式譲受に伴う販売事業強化に向けた検討について
- ② 農産物検査業務規程の一部改正について
- ③ 平成28年産島根米「買取制度」総括について
- ④ 平成29年産島根米「買取制度」中間総括について
- ⑤ 葬祭会館利用料の新設および葬祭会館利用管理規程の一部改正について
- ⑥ 監事監査規程の全部改正について
- ⑦ 組合と理事との取引（契約）の承認について
- ⑧ 島根県常例検査書の回答について
- ⑨ 株式会社JAアグリ島根への出資について
- ⑩ 平成29年度決算の承認について
- ⑪ 第4回通常総代会への附議議案について
- ⑫ 財務調整に関する取り扱いについて
- ⑬ 平成30年度に実施する業績還元を取り扱いについて
- ⑭ 購買システム整備の方針整理にかかるコンサル導入の検討結果について
- ⑮ 通常総代会にかかる「総代会参考書類」および「議決権行使書」の取り扱いについて
- ⑯ 常勤理事の他の団体理事等への就任について
- ⑰ 職員就業規則および関連規程の一部改正について
- ⑱ 運営体制改革にかかる改革案（中とりまとめ）の主要項目と総代会附議議案について

（紙幅の関係上、報告事項は省略いたします）

雲南

奥出雲町肉用子牛共進会が開催

6月7日に仁多郡奥出雲町の仁多中央家畜集合所で平成30年度第1回奥出雲町肉用子牛共進会が開催され、八川支部の福田一三さん出品牛「あき」が特選賞首席に輝きました。

首席の「あき」は、体上や体高の良さと全体的な締りの良さが評価の決め手となり、2席には横田支部の藤原トミ子さん出品牛「みつはな4」、3席には三沢支部の内田勇さん出品牛「しらゆり」が選ばれました。

首席に輝いた福田さんは「食事や運動を気にかけてが、一番は親の良いところを受け継いだこと。いい結果が残せてよかった」と話し、勝田康則町長は「宮城全共では県代表26頭の内、奥出雲町から11頭が出品された。この経験は次回の鹿児島全共につながるはず。町としても最大限の支援をしていきたい」と同町のさらなる和牛振興への期待を述べました。



特選賞に輝いた「あき」と福田さん（右）、勝田町長

くにびき

家庭婦人バレーボール大会で熱戦！ 津田クラブが2年ぶり5度目の栄冠に輝く

くにびき地区本部は6月3日、松江市総合体育館で「第12回JAしまね くにびきふるさとふれあいカップ家庭婦人バレーボール大会」を開きました。松江家庭婦人バレーボール連盟に所属する14チームが参戦し、津田クラブが優勝に輝きました。

大会は、スポーツを通じた社会貢献活動や管内チームの交流を目的として、毎年開催しています。

開会式では、田中鈴木副本部長が「練習の成果を発揮し、はつらつとしたプレーをしてください」と挨拶。雑賀クラブの川上直美さんが選手宣誓し、試合開始となりました。

試合は、予選から白熱した戦いが展開され、各チームは一進一退の攻防を繰り広げました。決勝では、昨年準優勝の津田クラブと、6年ぶりの優勝を狙う朝日クラブが激突。序盤から津田クラブが、21-14、21-9と圧倒し、2年ぶり5度目の栄冠を手に入れました。



優勝した津田クラブのメンバー

隠岐

隠岐地区本部総代・ 運営委員合同視察研修会の実施

隠岐地区本部は、6月24日に開催された第4回通常総代会に総代・運営委員合同で出席した翌日、引き続いて視察研修会を実施しました。

研修会では、株式会社JAアグリ島根や斐川地区本部のグリーンセンターなどを訪問しました。

株式会社JAアグリ島根では、同社の概要、米・花き・青果物・食肉などの販売実績の説明後、実際に花き市場などを見学しました。また、斐川地区本部管内のグリーンセンターでは、平成7年にオープンした産直市場を見学し、地元で生産された野菜・果物・花き・加工品などの多くの農産品が並べられている、活気のある販売現場を視察することが出来ました。



やすぎ

いもイモ大作戦 始動！

やすぎ地区本部は安来市穂日島町の中海干拓地で毎年行っている、サツマイモの苗植え体験イベント「いもイモ★大作戦」を今年も開催しました。食農教育と地産地消の推進を図ることを目的に平成11年から毎年行われ、リピーターの方も多いイベントです。

6月3日には市内外から40家族、約130人が参加され、JAの営農指導員の指導のもと、一区画10本の「紅はるか」の苗を定植しました。また、サツマイモについてより知ってもらおうと、栽培管理のほか品種の特徴や苗の説明など詳しく掲載したさつまいも栽培マニュアルをJAの担当者が手作りで作成し、配布しました。

参加された親子からは「去年より子供が植えるのが上手になっていました」「暑くて大変だったけど、楽しかったです」との声が聞かれ、今後は収穫まで各自で除草作業などの管理をし、10月に収穫祭や重さを競うコンテストも行う予定です。



苗に優しく土をかける子供

斐川

TACが行う食農実践教室

6月7日、斐川地区本部の担い手担当職員（通称：TAC）2名が、食農教育の一環として町内の出西保育園とあい川保育園を訪問し、49名の園児たちと枝豆「ゆかた娘」の種まきを行いました。はじめにTACが枝豆についての説明をした後、等間隔に印のついたロープを目印に指で穴をほり、一粒ずつ丁寧に種をまき、土をかけた後にたっぷり水をかけてあげました。園児たちは「穴の深さはこれくらいいいの?」「いつになったら食べられるの?」と質問しながら興味津々で作業に取り組んでいました。今後は園児たちが管理を行う予定で、毎日の水やりから土よせや草取りなどの作業を、当番を決めて行います。8月には収穫した枝豆を園で調理し、おやつとして味わうのを園児たちは楽しみにしています。



出西保育園の園児たち



あい川保育園の園児たち

隠岐 どうぜん

畜産共進会が開催

6月12日（火）隠岐島農業協同組合協議会が主催する「平成30年隠岐郡畜産共進会」が、知夫村仁夫里浜特設会場にて開催されました。

数日前より地元畜産農家の協力による会場準備を経て当日を迎えました。隠岐島各地区より1区（子牛の部）10頭・2区（若雌の部）15頭の計25頭が出品されました。審査の結果グランドチャンピオン牛には2区（若雌の部）首席のしげしげ号（高井芳江さん出品）が選ばれ、10月20日開催の島根県種畜共進会に出品されることになります。

また長年にわたり畜産振興に尽力された、知夫村の金築輝雄さん、山本進さんに畜産功労賞、小西梅子さんに全国和牛登録協会登録事業功労者賞（島根県で2名）が授与されました。昼食には地元畜産婦人部の方が豚汁をふるまい、審査競技には沢山の人が積極的に参加するなど活気あふれる畜産共進会となりました。



石見銀山

女子大学で石見銀山見学

JALしまね石見銀山地区本部が運営する女性大学（JA女子大学石見銀山キャンパス）の8期生は、6月6日に大田市大森町の町並みを散策、石見銀山について学びました。

JALしまね石見銀山女性部員でもある稗田奈穂美さんをガイドに、大森町の町並みを歩きました。大森町は、江戸時代の武家屋敷や代官所跡、石見銀山で栄えた豪商・熊谷家住宅など、随所に並ぶ歴史的な建造物や文化財が当時の面影を残しており、どこか懐かしい雰囲気になっています。

中国地方は5日より梅雨入りし、当日もあいにくの雨模様でしたが、受講生はガイドの話に熱心に耳を傾けながら、石見銀山の歴史について学びました。



ガイドから説明を受ける受講生

出雲

JAしまね子会社起工式 大型水耕栽培施設を建設

JALいずもアグリ開発(株)は6月20日、出雲市神西沖町で大型水耕栽培施設の起工式を行いました。光、温度、湿度、二酸化炭素、培養液などを調節できる高度環境制御栽培施設を建設し、天候の影響が少ない環境で、リーフレタスを周年栽培します。

総事業費は約7億400万円で、国の産地パワーアップ事業から1/2の助成を受けました。年間販売高は1億4,000万円を計画しています。JALしまね出雲地区本部の石川寿樹本部長は「子会社であるアグリ開発を主体とした大事業。自己改革の柱である農業生産拡大のためには、新しい農業にも取り組む必要がある」と話しました。

起工式には県、市、全農、施工業者、JA役職員ら約30人が出席。同地区本部の副本部長も務めるアグリ開発の吉田博幸代表取締役は「出雲の将来のために、誰かが先駆けてやらなければならない事業。次世代を担う若手や地元企業などに波及させたい」とあいさつしました。



あいさつをする吉田代表取締役

西いわみ

第56回島根米品評会農林水産大臣賞受賞 農事組合法人豊郷

第57回農林水産祭参加の島根県農業振興協会主催第56回島根米品評会で、益田市横田町の農事組合法人「豊郷（とよさと）」（代表理事組合長北條義洋）が出品したうるち玄米品種「きぬむすめ」が、島根米総合の部において農林水産大臣賞を受賞しました。

「きぬむすめ」は、平成29年5月に、約38ヘクタールの管理水田のうち50アールを乾田直播により播種し、10月上旬に収穫したもので、出荷先の米検査場で粒張りや色つやが極めて優れている事に注目したJA検査員が出品を勧めました。

同法人北條代表によると、乾田直播は平成28年の先進地視察がきっかけで、手がけていた大豆栽培の作業や機械が乾田直播に応用できると考えたということです。

平成30年6月8日に島根県庁で伝達式があり、北條代表に表彰状が贈られました。

北條代表は「今回の受賞を励みにして研究を重ね、面積を拡大して得られたデータを今後の取り組みに活かしていきたい」と抱負を述べました。



島根おおち

(株)スパーク山陰フェア [2018初夏]

広島県の地域密着型スーパー(株)スパークにおいて、島根県の青果物と特産品を揃えた山陰フェアが開催されました。当フェアは6月7日(木)～6月10日(日)の4日間、(株)スパーク15店舗で開催され、島根おおち地区本部からも職員が店頭に立ち、地元産サニーレタス等の野菜を並べ、PRや販売を行い店頭は賑わいました。

島根おおち地区本部と(株)スパークは、島根おおち野菜ブランド「愛菜の郷」の出荷をはじめ、毎年11月から12月には管内の加工場で製造している杵つき餅の職員による実演販売、また出荷している農畜産物への理解と関心を高めていただくため管内産地の視察を実施するなど、30年以上の交流を続けています。

島根おおち地区本部では、県内外の多くの方に管内の農畜産物を知り、食べていただけるよう、積極的な宣伝活動を行ってまいります。



本店

関西地区でトップセールス！

6月9日に、出荷最盛期を迎えた「デラウェア」や「アムスメロン」などを売り込むトップセールスを、取引量が多い関西地区にて島根県と協力して行いました。当日は竹下組合長が藤原孝行副知事と、大阪市中央卸売市場の大阪中央青果を訪れ、デラウェアのキロ単価1,300円の達成に向け、売り場確保など販売促進を関係者に要請しています。

また、神戸市のショッピングセンターへ特設コーナーを設置し、県産のキャベツやトマト、シイタケなどとともに、島根の果実や野菜の鮮度、味の良さを買い物客にPRしました。特設コーナーでは、出雲農林高校の生徒さん達にもお手伝いいただき試食品を振る舞ったほか、農産加工品が当たる抽選会も行い、会場は大変賑わいました。



(島根県提供)

いわみ中央

収穫を楽しみに！ さつま芋苗植え体験

JAしまねいわみ中央地区本部は、6月17日に浜田市上府町であぐりkids倶楽部の農業体験を行い親子16人が参加しました。

今回は、さつま芋の苗（品種：紅あずま）200本を植えました。あぐりkids倶楽部は、1歳から小学校6年生までの子供を対象に、親子で農業体験をとおして「農」を知ってもらうことを目的に立ちあげ、7年が経過した現在は67家族が加入しています。

この日も、JAの職員から植え方の話を聞き、畑には畝がたてられマルチを張ったところに、穴をあけて1本1本親子で楽しみながら植えていきました。最後に水やりをして終了です。参加者は「秋には大きな芋ができるといいなあ!収穫が楽しみ」と体験の感想を話していました。植えた芋は10月に収穫予定です。



タテのカギ



- ①水着の痕がついたり皮がめくれたり
- ③学校の教室に並べます
- ⑥酒などを量る四角い容器
- ⑦ミノ、ハツ、センマイといえば
- ⑧全生徒中の男子生徒の——を計算で求めた
- ⑩お盆休みに帰る人もいます
- ⑭プールで習うことの一つ
- ⑰ビーチ——を広げて日陰をつくった
- ⑱一般的に縄より太め
- ⑲バットを持って1人でもできる練習
- ⑳釣りに使う透明な糸

ヨコのカギ



- ①夏らしい黄色い花
- ②爪を削って整えるときに使います
- ③アサガオやヘチマが伸ばす物
- ④天気予報では雲のマークで表されることが多い天候
- ⑤コンパスだときれいに描けます
- ⑦サッカーの主審が吹きます
- ⑨舌で感じます
- ⑪ウミウシも実はこの仲間
- ⑫プラスの反対
- ⑬U A Eとも呼ばれる——首長国連邦
- ⑮卵を英語でいうと
- ⑯定期券を入れた——ケース
- ⑰あの2人はどうも——が合わないようだなあ

二重マスの文字を A ~ E の順に並べてできる言葉は何でしょうか？

1	6	8			16	19
2				13		
		9	10		17	
	7			14		
3			11			20
4				15	18	
5			12			

答え

A	B	C	D	E
---	---	---	---	---

応募要項

- 応募方法 ハガキに、答え、住所、氏名、年齢、電話番号、本誌に関するご意見・ご感想を記入して、下記宛先にお送りください。
- 賞品 正解者の中から抽選で40名（JAしまね全体）の方に「JA商品券」をお贈りします。
- 当選者発表 賞品の発送をもってかえさせていただきます。
- 宛先・締切 〒690-0823 松江市西川津町1635-1
JAしまね くにびき地区本部 ふれあい課 「クイズ」係
平成30年8月5日（日）（当日消印有効）

◆先月号の答え◆ 「サヤインゲン」

サ	ヤ	ア	ジ	サ	イ
カ	ラ	オ	ケ	ハ	ン
ズ		イ	チ	イ	ン
キ	ノ	コ	デ	ジ	マ
	ミ	ミ	セ	ン	ド
ゲ	コ	イ	シ	カ	ワ
カ	ミ	ナ	リ	ヤ	ク

お預かりした個人情報、プレゼントの抽選・発送以外の目的で利用することはございません。

夏に向けてのからだ準備

今年も猛暑が予想され、体調管理に不安をお持ちではありませんか？今年こそスムーズに乗り越える為、早くから準備した方がいいです。

夏の暑さに負けない元気なからだを作るには、「バランスの良い食事」「適度な運動」「十分な睡眠」が大事とよく耳にします。簡単なポイントをあげますので、参考にしてみてください。

夏は、冷房にあたりたり、冷たい物の摂り過ぎで、案外からだ冷えてしまっている事が多いです。からだの冷えは、自律神経の乱れや、免疫力の低下に繋がるので、夏であっても温める事が大切です。食事のはじめに野菜たっぷりのスープや味噌汁をからだに入れたり、温かいお茶を飲んだりするだけでもずいぶん違います。食事も大切で、食べて消化する行為はエネルギーを作り出し、からだを温めます。特に体温の低い人は朝食を抜かないこと！3食の中で朝食は最も大きな熱を生み出します。体温を上げ代謝を良くする事で疲れにくくからだをつくりましょう。もし、夏に食欲不振を感じたら、胃腸の冷えが原因かもしれません。「温かい物」を摂るように心がけ、胃腸に負担をかけないようにしましょう。

食事の次は運動ですが、今まで運動習慣がないと「外は暑いし運動で汗を流すのは嫌だ」と躊躇する人も多いと思います。激しい運動ではなく、朝起きがけのウォーキングアップを行うことで、気持ち良く1日をスタートさせて、疲れにくくからだにする効果があります。

目覚めに寝たまの状態で、1.両手を胸の前まで上げ、グーとパーを繰り返す要領で手の平を開いたり閉じたりする。2.次に頭の上まで両手をあげ、両手足をゆっくり伸ばす。最初は軽く、徐々に手足に力をいれる。3.両手を両脇にもどします。踵を突き出す動きと、つま先を伸ばす動きを交互に数回繰り返す。4.膝を両手で胸の前で抱えるように引き寄せゴロゴロとする。このようにしてゆっくりエンジンをかけ、からだを温めながら目覚めさせてはいかがでしょうか。少しづつ取り入れてからだを動かすきっかけになればと思います。

そして睡眠。この季節にかかわらず、なかなか寝付けないといった方は多いと思います。入浴や温かい飲み物でからだを温めたり、アロマを焚いたり、照明を好みに変えたり、本や音楽で心を落ち着かせたりと、安眠方法については三者三様ですが、共通する点はリラクゼーションできる状況を作ることです。また、日中に明るい光をたくさん浴びることをお勧めします。明るい光は、睡眠を促進するホルモン（メラトニン）が作られ、より良い睡眠に近づくことができます。明るい光なら自然光だけでなく、どんなものでも影響があり、室内の照明も含まれます。

何かヒントになりましたでしょうか？さあ、暑い夏に向

平成30年度 くにびき地区本部 総代説明会開催!

くにびき地区本部総代説明会を6月16日、営農総合センターで開催しました。くにびき地区本部としての平成29年度の事業報告・決算実績のほか、平成30年度の基本方針(案)、事業計画(案)などの内容について報告します。



総代説明会の様子

当日は総代140名のうち、112名が出席。

冒頭で、出席者全員によるJA綱領の唱和の後、山根盛治副組合長が「農業の誤使用があった件につきまして、深くお詫び申し上げます。今後は、再発防止に万全を期してまいります。平成29年度は農業振興支援事業を核とし、園芸重点推進5品目の産地化支援、担い手の規模拡大への支援など多くの方にご利用いただきました。また、米の買取制度や販売対策の改善・強化、生産資材価格の引き下げに取り組みました。今後も統合効果を最大限に発揮するため、の改革を役員一丸となり、進めていきます」と挨拶しました。

皆様のご理解、ご協力に感謝を申し上げます。しかし、農協改革やマイナス金利政策への対応など課題は山積しています。総合事業として組合員・利用者へのサービスを維持、向上させ、地域の農業に貢献するため、皆様の意見を取り入れながら、自己改革を図ってまいります」と、日頃の感謝とともに今後の意気込みを語りました。

座長には伊原幸俊総代長(第7選挙区・六道玉湯ブロック)を選出。JAしまね全体とくにびき地区本部の平成29年度の事業報告、平成30年度の事業計画(案)などについて説明し、各地区の総代から意見、要望が出されました。(別18ページ参照)

こうした意見や要望を踏まえ、くにびき地区本部が組合員の皆様から信頼され満足されるよう、今後も役員一同協力して事業運営にあたってまいります。

くにびき地区本部の概況

平成29年度事業実績 (平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)

(単位: 千円)

科目	金額	科目	金額
事業総利益	3,969,654	事業利益	317,197
信用事業総利益	1,475,712	事業外収益	220,725
共済事業総利益	1,262,610	事業外費用	51,620
購買事業総利益	468,831	経常利益	486,303
販売事業総利益	142,920	特別利益	1,483
保管事業総利益	12,409	特別損失	29,661
加工事業総利益	16,522	税引前当期利益	458,125
利用事業総利益	117,077	法人税・住民税等	71,371
葬祭事業総利益	257,745	当期剰余金	386,754
宅地等供給事業総利益	14,157		
その他事業総利益	208,720		
指導事業収支差額	▲ 7,055		
事業管理費	3,652,456		

※本店配賦を含む。

組合員数 (平成30年3月31日現在)

(単位: 人、団体、戸)

正組合員			准組合員			合計	戸数		
個人	法人・団体	合計	個人	法人・団体	合計		正組合員	准組合員	合計
10,231	27	10,258	29,077	130	29,207	39,465	7,724	21,427	29,151

役職員の状況 (平成30年3月31日現在)

(単位: 人)

役員			合計	職員					合計
常勤理事	非常勤理事			総合職	専門職	一般職	福祉職	(うち営農指導員)	
3	4	7	239	28	34	33	19	334	



山根副組合長



栗原本部長



伊原座長

平成29年度 事業報告

平成29年4月1日
～平成30年3月31日



サンサン女子大野菜栽培講座 (9月16日 San・san館)



くにびきサンサン市場駅前店リニューアルオープン (7月8日)

営農指導・販売

- 畜産**—(ア)子牛価格は高値で推移、出荷頭数165頭(前年比103.1%)と増加。販売高120,315千円(前年比94.7%)。(イ)生乳販売:乳量791tで95,514千円(前年比90.4%)(ウ)鶏卵販売高37,772千円(前年比105.2%)。

保管

- 米集荷・検査買入数量**—下佐田倉庫1,553t、ライスターミナル「米蔵」1,300t。

加工

- 雲州人参**—生産者の廃作により減少し出荷量は175kg(前年比97.2%)、取扱高は4,622千円。
- 茶**—一番茶、秋番茶が減少し総計で28.3t(前年比94.0%)、取扱高は12,470千円。

利用

- 育苗**—水稻苗は飼料用米苗を含め、103,084箱(前年比95.4%)。野菜・葉たばこ苗では14,763トレー。
- 米穀乾燥調整施設**—カントリーエレベーター「稲蔵」1,437t、鹿島ライスセンター235t、南ライスセンター393tの処理実績となりました。
- 無人ヘリ防除**—水稻で359.9ha(前年比98.8%)の散布を実施。

購買

- 生産資材低減対策**の一環として平成30年産水稻資材予約価格について、肥料・農薬を統一品目として、安価な価格設定をし、統合メリット創出に取り組みました。また、集落営農組織・認定農業者等の担い手を対象に、提案型訪問活動を実施し、大型規格や低コスト農薬などニーズに即した資材提供に努めました。
- 農業機械**—農家訪問活動(1担当200戸)の強化を図り、サービスの向上と担当者のレベルアップに努めました。

地産地消で食卓に
安心をお届けします!

産直会員数 1,256人
産直販売高 7億8百万円

の木店にインショップを新設。産直販売高708,296千円(前年比106.3%)

- 水稻**—高温の影響によって、「ハナエチゼン」「コシヒカリ」は未熟粒により等級が低下。「きぬむすめ」は、刈り遅れがあり品質に影響。また、「つや姫」は、「コシヒカリ」に比べ1等米比率が高くなりました。(ア)米集荷は、出荷申出数量114,257袋に対し、105,911袋(92.6%)の集荷実績。(イ)買取米をより精度の高い買取価格とするため、集荷時と12月末の2回に分けて価格設定を実施。前年より1袋(30kg)当たり600円～300円高い価格になりました。
- 野菜**—「くにびきキャベツ」の栽培技術等を習得できる講座を開講し、2名が新たな担い手となりました。また、「玉ねぎ」を重要推進品目と位置づけ、省力栽培(大型トンネル被覆)を推奨。作付拡大に取り組みました(生産者18名・栽培面積2ha)。産直販売は、大雪による野菜の品不足、価格高騰及びAコープやくも店と(株)みしまや上の木店のインショップ化により、出荷量が増加。販売高は前年を上回りました。
- 西条柿**—品質、玉太りも良好で前年を大きく上回る出荷量。「こづち」は、県外市場を中心に49.2t(前年比115.4%)出荷。干し柿用枝付西条柿は、広島市場を中心に10.3t(前年比105.1%)出荷。「☺干し柿」は岡山市場、「あんぼ柿」は広島市場中心に出荷。
- 椎茸**—生産数量・品質とも前年を下回りました。
- 牡丹**—(ア)鉢花:出荷量は5,760鉢(前年比88.1%)と前年を下回る実績。(イ)鉢・苗直接輸出先の台湾南投県の販売業者生産拠点では、出荷に併せ管理指導を実施。
- そば**—台風被害が発生し、刈取り時期も悪天候でしたが、収量は52t(前年比133.3%)。



沖縄で「つや姫」販売促進(4月1日～2日)

主な農産物販売高

米	877百万円
野菜	1,112百万円
果樹	91百万円
畜産物	287百万円

- JAしまね農業振興支援事業により、23の担い手経営体に対し支援しました。米選別機1.9mmふるい目への更新を進め、146台を導入を支援。〔合計で助成額26,680千円(事業費91,510千円)〕また、雪害支援復興対策としてパイプハウス23棟の再整備に1,958千円を支援しました。
- 「経営安定対策」の円滑な事業実施に向け、申請手続きの支援等に積極的に取り組みました。◇米の直接支払交付金交付件数1,418件◇水田活用の直接支払交付金交付件数698件◇畑作物の直接支払交付金交付件数44件。
- 「良質米生産に向けた品種転換」に向けて、「コシヒカリ」から「きぬむすめ」「つや姫」への品種誘導を実施するものの、作付割合は「ハナエチゼン」6%、「コシヒカリ」57%、「きぬむすめ」25%、「つや姫」9%とコシヒカリの作付割合が高い結果となりました。また、担い手を中心に「つや姫」の生産拡大に取り組み、作付面積は161ha(前年度138ha)となりました。
- 農業経営支援として、農業所得収支データ391件、農業簿記データ還元15件のデータ提供を実施しました。
- 新規産直会員育成を目的とした「さんちよく営農塾」を開講し、14名が受講。また、くにびきサンサン市場駅前店のリニューアルオープン、(株)みしまや上



住宅ローン子育て応援イベント
(11月11日 San・san館)



第5回だんだん健康ウォーク大会
(11月3日)



第15回くにびきふるさとふれあいカップ
キッズサッカー大会 (11月11日~12日 総合運動公園)

組織・広報・くらしの活動

- 農政会議一関係団体と連携した行政との懇談会を開催し、農業施策等の要望、意見交換を実施しました。
- 青年連盟一母衣小との食農教育・農業体験や「ふれあい親子いもほり大会」の開催、松江市農林水産祭やまつえ食まつりへ参加し、農業理解促進に取り組みました。
- 女性部一教育文化センターSan・san館を活用して「食」と「農」をテーマとした活動を進めました。また、広報誌での「松江に伝わるふるさと料理」の紹介や「サンサン料理教室」へレシピを提案しました。さらに、山陰中央新報社文化センター特別講座で講師を務め、地元農産物利用促進に取り組みました。
- 「女性大学(サンサン女子大)」一文化・教養等幅広い講座を実施し、第5期生42名が受講しました。また、卒業生会は合計56名となり、相互交流とJA理解を進めました。
- 広報一組合員広報誌「JAしまねびより」やホームページ等により広報活動を展開しました。
- 教育文化活動一協同組合の理解促進を深めるため、「家の光三誌(家の光・ちやぐりん・地上)」「日本農業新聞」などの普及拡大の実施。また、「支店だより」を全支店が発行し、身近な情報発信に取り組みました。
- くらしの活動一『家の光』の記事を活用した「手芸教室」を隔月で開催。また、キッズサッカー大会、家庭婦人バレーボール大会を主催しスポーツ活動支援を行いました。パートナーセンター(結婚相談所)による婚活支援を行い、2組が成婚しました。
- 地域貢献・地域活性化に取り組むグループ・団体等の多様な取り組みを表彰・普及支援しました。

経営・管理

- JAしまね第1次中期経営計画(平成28~30年度)実践2年目にあたり、「食と農を基軸として地域に根ざした協同組合」の確立に向け、地区本部における重点実施事項についての進捗管理に努めました。
- 「JAしまね総合ポイントカード(おさいふカード)」は、97.8%の加入率でした。
- 「組合員加入促進運動」を展開し、資格変更を含め正組合員273名、准組合員654名が加入しました。
- コンプライアンス・プログラムに基づく行動計画を策定し、コンプライアンス遵守・不祥事未然防止の強化に取り組みました。

信用

- 個人貯金獲得に向け、「JAしまね定期積金スプリングキャンペーン」など各種キャンペーンを精力的に実施しました。
- 貯金残高1,329億61百万円(計画対比97.9%)。平均残高1,425億47百万円
- 農業資金はTACとの情報連携強化を図りました。新規貸出実績191,910千円。
- 個人貸出金は、「魅力ある金利」を提案可能とした、～子育て応援宣言～を昨年に引き続き実施しました。JAしまね統一の休日ローン相談会を実施(年4回)しました。
- 貸出金残高は502億83百万円(計画対比99.7%)。平均残高489億91百万円
- 年金新規指定口座の獲得に取り組み、他行の受給者へ向けた年金指定替え訪問を実施し年金受給者数が14,447名となりました。
- 「年金ふれあい感謝デー」に、お茶の提供等を行い、2,882名に来店の皆勤賞を授与しました。

共済

長期共済金の主な支払状況

内容	金額	件数
死亡共済金	621,57万円	175件
入通院共済金	394,40万円	3,063件
火災・自然災害共済金	272,28万円	690件

傷害共済は742件で53,91万円の支払いがありました。

- 「3Q訪問活動あんしんチェック」を実施し、正・准組合員加入世帯の62.4%にあたる13,681世帯のフォロー訪問活動を行いました。
- 長期共済期末保有高は6,000億6千万円(前年比97.8%)。
- 自動車共済の新規獲得および保障内容充実に向け、スマイルサポーター(共済窓口担当職員)・ライフアドバイザー(LA:共済渉外担当職員)・損害調査スタッフの連携強化による取り組みを実施。クルママスター占有率は25.1%、契約件数は139件増加し、21,525件(前年比100.6%)(自動車件数は、普及実績件数)。
- 13年ぶりの仕組み改訂となった「建物更生共済むてきプラス」の積極的なお知らせ活動を中心として、より魅力あるJA共済の普及に取り組み、長期共済推進総合実績ポイント10,189,164Pを達成し、普及拡大に努めました。
- 交通安全反射たすき・カーブミラー贈呈、交通安全教室の開催、JAカップ学童野球協賛など地域貢献活動を行いました。

福祉

- 福祉一ヘルパーステーション事務所を12月にサン・エールたまゆ内に移転。また、「JAしまね ひまわりの会」が行う地域の助け合い活動に対し支援しました。
- 健康管理活動◆特定健診・腹部超音波検査・大腸がん検診・胸部CT検診・乳がん検診を実施しました。また、農業法人会会員を中心に、人間ドック車を利用した検診に取り組みました。
- ◆「JA健康寿命100歳プロジェクト」の一環として行われた「第6回あなたに届けるJA健康寿命100歳弁当コンテスト」に出品。「第5回JAしまねくにびきだんだん健康ウォーク大会」を開催し94名の参加。◆「地域ケア連携フォーラム」等への参画を通じて地域セーフティネットの構築を図りました。

福祉サービス利用実績/年間

事業所(事業名)	延利用者数
介護相談センター(居宅介護支援)	1,187人
ヘルパーステーション(訪問介護)	7,587人
ひまわりの家(小規模型通所介護)	1,625人
サン・エールたまゆ(通所介護)	9,075人
サン・エールたまゆ(短期入所生活介護)	6,708人

※「ひまわりの家」は平成30年2月末で廃止

葬祭

葬儀施行件数655件(内会館利用は459件)。また、葬祭会員専用定期積金「あおぞら」の普及運動を展開し3,187人の会員数となりました。

生活

(単位:千円)

区分	H29実績	備考
自動車	270,538	車両販売242,235千円、整備部品28,248千円他
LPガス	291,894	供給271,371千円 ガス器具11,018千円 充填料3,643千円他
生活資材	95,065	シロアリ工事49,751千円、 テレフォンショップ31,037千円、 ムスイ他14,277千円

資産管理

資産相談センターにおいて相続を中心とした相談業務に取り組み113件の相談に対応しました。

基本方針

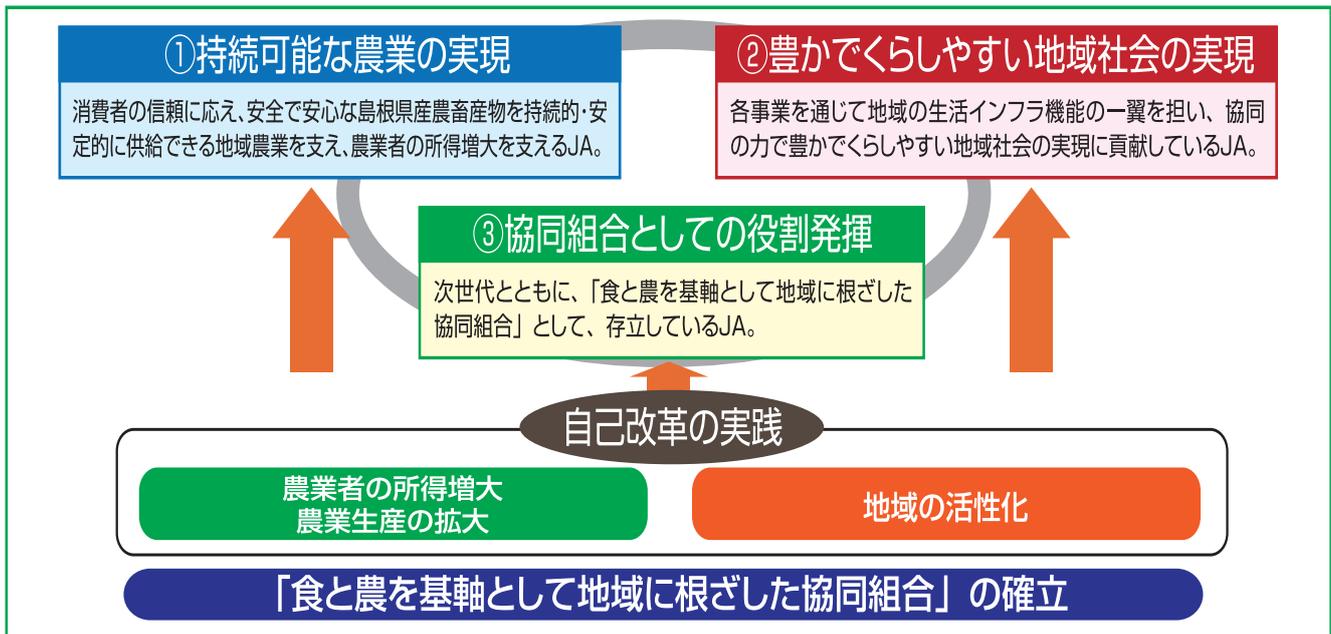
平成30年度 事業計画

平成30年4月1日
～平成31年3月31日

平成30年度は、「第1次中期経営計画」と「農業戦略実践3ヵ年営農計画」の最終年度として、また自己改革においても成果が問われる年として目標に向かって役員が一体となり、各事業部門の方針・重点事項を実践します。また、その進捗状況を総括するなかで、将来にわたって組合員・事業利用者・地域住民に安心・信頼され、かつ安定的な経営を継続するために、向こう3年間（平成31年度から平成33年度）の指針となる「第2次中期経営計画」を策定し、「自己改革」をすすめるながら、「新基軸」を旨とした総合力の発揮に取り組みます。

3つの基本方針を柱に

人と自然が共生する、光り輝く未来を創造しよう！



主な重点実施事項

「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」を目指し、JAしまね「農業戦略実践3ヵ年営農計画」に基づき、くにびき地区本部の重点振興施策の実践します。

「持続可能な農業の実現」

- 「農業戦略実践3ヵ年営農計画」の最終年度となる節目の年であり、くにびき地区本部の重点振興施策の実践に取り組みます。
- 「営農経済事業改革マスタープラン」の事業別対策を実践し、営農経済事業部門収支の改善を図ります。

「豊かでくらしやすい地域社会の実現」

- JAくらしの活動の展開と地域社会づくりへ貢献する中で、地域実態・ニーズをふまえ、安心して暮らせる生活インフラの機能発揮とともに、組合員や地域住民が参画するくらしの活動を展開します。
- 豊かな自然・文化・歴史ある資源を活かし、魅力ある地域社会を維持・形成・創生していくために、「食と農を基軸として地域に根ざした協同組合」として地域のコミュニティへの参画や行政等と連携し、地域づくりに貢献します。

「協同組合としての役割発揮」

- 次世代とともに、「食と農を基軸として地域に根ざした協同組合」として存立するJAを目指し、「アクティブ・メンバーシップ（組合員が協同組合の理念を理解し、積極的に事業利用や協同活動に参加し、「わがJA意識」を高めること）の確立と組織基盤強化」を図るため、多様化した組合員ニーズを把握し、組合員の事業利用の拡大とともに、地域農業とJAの理解を深める活動を展開します。

総代説明会

Q & A

地区本部総代説明会で出された意見、要望をピックアップして紹介します。



(宍道玉湯) 永江りえ総代

- (1) 島根県西部地震で大田市の実家が罹災したが、建物更生共済の加入保障の半額の加入割合に応じた共済金の支払いだった。地震の共済金が、満額支払われないことを知らない人も多いと思うので、改めて内容説明を行い、保障の見直しの話しをされたほうが良いと感じた。
- (2) ラピタと石見銀山地区本部のグリーンセンターには、おさいふカード用の来店ポイント付与端末の「ラッピー」が設置されている。くまびきは導入する予定はあるのか。

地区本部

- (1) 地震の保障については、一般の損害保険会社と同様にJA共済でも保障額の半額となっておりません。また、満額加入されていない場合は、加入割合に応じた支払いとなりますので、保障は半額であつても建物の価値に対して満額加入する必要があります。なお、平成29年4月より建物更正共済の仕組改訂があり、「火災等」や「地震を除く自然災害等」について、加入割合に関わらず加入金額を限度に支払う「実損てん補特約」という内容が新た

にできました。引続き、担当者に保障の見直しを含め説明を徹底させます。

- (2) 現在設置については、考えておりません。「ラッピー」端末機は、設置に多額の費用がかかるため、年度計画に盛り込まなければ、即時導入ということにはなりません。昨年くまびき地区本部では、おさいふカードの還元について失効ポイントのご案内をさせていただきました。ポイント残高を改めて確認していただく契機となりましたが、引き換えられず失効したポイントがあり、アナウンスの仕方を含めて、丁寧な対応も考えていかなければなりません。ご意見を参考に、還元するモノ、場所を検討したいと考えていますので、貴重な意見として承ります。

(松江東) 青山嘉夫総代

- (1) 国の農協改革について厳しい環境となるなかで農家もしつかりとしなければならぬ自覚がある。そのような中で、島根県産の農産物、くまびき地区本部の重点品目などあるが、それらの農産物が県内外にどのような周知されているのか疑問に感じる。どのような取り組みをされているのか

伺いたい。

- また、これは要望ですが、国の農協改革で、JA組織を何とかしていきたいという意思がある中で、島根県においてJAは地域のインフラであり、水道や電気と同じような存在。JAがなくなれば、どうしようもない状況が多数ある。国に対してもっと働きかけ、適正な改革となるようお願いしたい。
- (2) 毎年、総代会が松江市で開催されているが、開催場所について他の地区本部から、異議・意見がないか伺いたい。

本店

- (1) 島根県農産物の、県外への宣伝が足りないのは認識しています。「販売戦略室」を設け、いかにマーケットインの農産物を作っていくか、そしてどういう売り先を見つけていくかということを立案しています。今後、県内の販売については全農とJAアグリ島根の力を借りながら実施していきたいと思っています。

地区本部

- (1) くまびき独自の伝統的な野菜、新規の品目については、農産物直売所や松江市内にあるスー



ます。施設によって、収容可能でも予約済であったり、改修工事中であったりとスケジュールが合いませんでした。総代1000名の大半は中部以東に集中しており、移動や事前準備など、総合的に判断し、開催場所を決定させていただきました。

(松江南) 浅野真治総代

くにびき地区本部事業計画の平成30年度収支計画の大半の事業が、前年対比でマイナスとなつている。増えているのは、人件費と業務費。特に注力すべき購買事業、販売事業などもマイナス。事情はあるかもしれないが、せめて前年並み程度にしなければいけないと思う。最初からマイナスの計画というのは如何なものか？

地区本部

信用事業、共済事業については既定の事実であり、諸情勢を鑑み、やむを得ない状況であることをご理解願います。今後、可能な限りマイナスにならないように努力します。また、購買事業、販売事業についても、前年対比を維持したいと考えています。人件費については、圧縮に努めています。退職給付や職員の異動など様々な要素で変動しており、

本店
(2) 2年前の総代会でも東部、中部、西部と各所で開催されないのかという質問を受けました。しかし、結果的に総代1000名を収容できる会場が限られており

り、来年度の計画はこのような状況となつていきます。数字は数字でありませんが、全事業マイナスにならないように、前向きに取り組み気持ちであることをご理解願います。

(松江南) 角可津夫総代

松江市の事業で農地再生事業に取り組んでいるが、再生費用の負担の問題がある。冊子に、耕作放棄地再生利用緊急対策事業を活用した、耕作放棄地等の解消に向けた取り組みで、松江市内の耕作放棄地解消面積が30アールあるが、JAとして、農地再生の費用を投資するような助成事業があれば、是非活用したい。併せて子会社とは具体的にどこなのか？

地区本部

総代会説明資料の、松江地域農業再生協議会での取り組みは、平成29年度に松江市と実態調査を行い、荒廃度合いが軽度で、再生可能な農地を耕作し、農業生産に結びついた実績を記載しております。耕作放棄地を再生するということは、生産可能面積が増え、拡大、販売額の増大に繋がるというものです。公共の助成事業で導入できるものがあれば、取り入れながら再生を目指していきま

功労者表彰

(敬称略)

第4回通常総代会開催にあたり、昨年9月の総代任期満了により総代を退任された皆様のなかから、合併前を含めて長年に渡りご尽力をいただいた皆様方を讃え表彰しました。()は帰属支店

- 野津 治美 (川津)
- 古藤 政宣 (川津)
- 木村 一正 (古江)
- 藤原 幸雄 (古江)
- 小村 伸吾 (古江)
- 若林 大滋 (古江)
- 角田 義弘 (鹿島)
- 朝倉 篤樹 (島根)
- 安部 敏博 (島根)
- 竹谷 潤一 (八束)
- 永島 昭 (東出雲)
- 田部 好弘 (東出雲)
- 福岡 忠士 (八雲)
- 前田 秀子 (八雲)
- 小松原 節子 (八雲)
- 岩田 功 (玉湯)
- 高木 利章 (玉湯)
- 高木 功 (玉湯)
- 隆夫 (玉湯)
- 堅野 國満 (宍道)
- 犬山 信雄 (宍道)

す。但し、その農地を継続的に、誰が生産管理していくのかを担保していかないとせっかく農地として再生しても、暫くしてまた荒廃してしまうという事態だけは避けなければなりません。耕作放棄地対策の事業主体は、地権者、生産者、農地を借り受ける者とされ、JAは対象者ではありません。行政から事業主体をJAとして認められれば、検討する材料となりますが、現在は相談までになります。子会社とは「有限会社JAしまねくにびき協同サービス」です。

農業の魅力を感じ！ くにびき青年連盟と 育英北幼稚園園児が 田植え体験

JAしまねくにびき青年連盟（野津喜洋委員長）は6月6日、農業の魅力を感じてもらおうと、育英北幼稚園つき組（年長5歳児クラス）の園児20名を招いて田植えを行いました。

当日は、くにびき地区本部の北側にある7アールの水田に集合。野津委員長や盟友が「根をほぐして3本ずつ植えて」「深さは指が全部入るまで」などと実演を交えながら説明しました。

苗を手にした園児は、園で練習した通りに横一列に並び、先生の合図に合わせて、一斉に植えていきました。中には、足が抜けずに尻もちをつき、泥まみれになっている園児もいましたが、苗を植え終わると自分たちが植えた田んぼを嬉しそうに眺めていました。

田植え後、山崎悠真君（5）から「お米はいつできるの」と質問があり、野津委員長は「今日植えた苗が順調に生長したら10月に収穫する予定」と回答。また、渡部莉玖（5）君は「みんなでした田植えはすごく楽しかった。お米ができたらいっぱい食べたい」と笑顔で感想を述べました。

今回植えた苗は、盟友らが維持管理し、10月の収穫期には稲刈り体験を予定しています。



植え方を教える盟友



苗を受け取る園児



田植えをする園児



若い力を結集！ くにびき青年連盟総会開催



執行部による活動報告

JAしまねくにびき青年連盟（野津喜洋委員長）は6月1日、松江ニューアーバンホテルで第29回通常総会を開催しました。



挨拶をする野津委員長

当日は、盟友とJA関係者57名が出席。冒頭、野津委員長は「前年度は、例年力を入れて取り組んでいる食農教育に加え、婚活やSNSなど新しい事業に取り組み、さらに活気が増した。今年度も若い力を結集させ、地域の農業を盛り上げよう」と挨拶。続いて、島根県農協青年組織協議会の小村伸治会長が「新規の事業を行うなど積極的に活動している。今後も、県内の農業を引っ張る組織として活躍してほしい」と激励しました。

総会では、川津地区の岩水孝則盟友を議長に選任。前年度の活動報告や今年度の活動計画と収支計画（案）など全議案が承認されました。また、役員改選も行われ、野津委員長が再任、副委員長には安達隆行盟友と安部恭久盟友が新任されました。

- ▼【新役員】（敬省略・地区名・再任・新任）
- ▼委員長 野津 喜洋（朝酌・再）
 - ▼副委員長 安達 隆行（本庄・新）
 - ▼委員 安部 恭久（八雲・新）
 - 大西 貴広（美保閑・再）
 - 佐々木 紀祥（雑賀・再）
 - 小林 昭男（法吉・再）
 - 鶴原 守（津田・新）
 - 上山根 有史（東出雲・新）
 - 川島 奨（法吉・再）
 - 廣江 暢稔（東出雲・再）
 - 石田 翼（東出雲・新）

▼監査委員

- 石田 翼（東出雲・新）



新役員による挨拶

青年連盟と女性部が交流 秋の収穫目指し サツマイモの苗植え

くにびき青年連盟（野津喜洋委員長）は6月9日、秋に開催予定の「ふれあい親子いもほり大会」に向け、東出雲町の中海干拓地にある圃場に、サツマイモの苗を植えました。

いもほり大会は、親子で農業の魅力を広く知ってもらおうと毎年開かれており、今回で29回目を迎えます。

苗植え当日は、盟友やくにびき女性部員、JA職員など35名が参加。参加者は、30アールの広大な畑に並ぶ約100メートルの畝に、ベニアズマの苗4千本を植え付けました。参加者は火ばさみで苗をはさみ、土に差し込むように植えていき、収穫までに大きく育つようお願いを込めました。

野津委員長は「秋の収穫に向け、みんなで協力して管理していきたい」と語りました。いもほり大会当日は、ジャンボいもコンテストや女性部によるいもたんご汁の販売も企画中。参加受付は、9月頃からJAの店舗窓口などで行う予定です。



◀苗植えの様子

演歌歌手 小川たけるさん 来訪 10月に地元松江でコンサート開催!



今後の抱負について語る小川さん

松江市出身の演歌歌手・小川たけるさん(30)が6月15日、くにびき地区本部を来訪し、10月6日に開催する新曲発売記念&デビュー4周年コンサートに向けての意気込みを語りました。

小川さんは、2014年に松江の城下町を歌った「ふたりの城下町」でデビュー。今年8月には、1年9ヶ月ぶりに待望の新曲「港のおんな」が発売されます。また、2015年の8月には松江観光大使に就任し、松江の魅力を県外にPRしており、芸能活動以外でも活躍の場を広げています。

来訪当日、小川さんは10月に開催されるコンサートの概況や8月に発売される新曲について役職員に説明。また、昨年に引き続き、くにびき管内で生産・加工したお茶に、オリジナルラベルを貼付した「小川たける茶」を販売することが決定しました。栗原令本部長は「全国に、松江の良いところやJASしまねをどんどんPRしてほしい」と激励し、コンサートの特別協力も約束しました。

小川さんは、地元で開催されるコンサートを前に「地元の暖かい声援に、いつも支えてもらっている。新曲を披露し、皆さんに楽しんでもらいたい」と、抱負を語りました。



記念撮影する小川たけるさん(右)と栗原本部長(左)



お茶のパッケージ2種類

くにびき地区本部では「小川たける新曲発売記念&デビュー4周年コンサート」の前売券を組合員価格で取り扱っています。

○日時：2018年**10月8日**(祝・月)

【開場】12:00【開演】13:00

○場所：**松江市総合福祉センター**
(松江市千鳥町70) ※専用駐車場有

○チケット価格

指定席：組合員価格**3,700**円(通常価格4,000円)

自由席：組合員価格**3,200**円(通常価格3,500円)

○お申込・お問い合わせは

くにびき地区本部企画総務部ふれあい課

TEL:0852(55)3018 FAX:0852(32)6870

お知らせ

農業の担い手を目指し学ぶ! だんだん営農塾7期生が入塾



くにびき地区本部と松江市、島根県は6月5日、「だんだん営農塾」の開講式を東出雲町のJAS中海干拓研修センターで開催しました。

同塾は、新規就農者や帰農者の拡大と支援を目的に、平成24年度から毎年、受講生を受け入れており、これまでに51名が卒業。うち約半数が県内外で就農しています。

7期目となる今回は、7名が入塾。柿、キャベツの2コースに分かれ、地元生産者やJAS関係者から指導を受けながら、各作物の栽培技術などを学ぶ予定です。

開講式では、土江紀明塾長(松江地域農業再生協議会担い手部会長)が「知識や経験の習得とともに出会いを通じて、横のつながりも広げてほしい」と挨拶。

開講式の後、受講生は各コースに分かれ、生産概況や栽培基礎について学習。また、中海干拓地のキャベツ畑や東出雲町の柿園を見学し、就農への意欲を高めました。

参加した東奥谷町の森山悟さん(29)は「現在、農事組合法人で働いているが、営農塾でしっかり学び、将来独立を目指したい」と意気込みを語りました。



開講式の様子

地域農業を活性化目指す 松江市農政会議総会開催

松江市農政会議（上山根晴久会長・3、117名）が6月9日、第8回通常総会を農農総合センターで開催しました。2017年度の活動報告と2018年度の事業計画など、全議案が承認されました。

当日は、松浦正敬市長をはじめ、来賓や会員など約140人が出席。冒頭、上山根会長が「担い手不足や鳥獣被害など問題は山積しているが、地域環境に合った農業を展開し、地域一体となり、持続可能な農業を目指そう」と挨拶。続いて、松浦市長が「松江市の農業がおかれている現状をしっかりと受け止め、それぞれの役割を果たしながら、関係者と共に連携して地域農業の活性化に取り組みよう」と激励しました。

その後、津田支部の藤崎敏美さんを議長に選任し、議事を進行。今年度は、集落営農を中心とした、地域農業活性化に向けた再構築などに取り組みます。さらに、広報活動の充実やリーダー育成などに取り組み、組織強化を図ります。



あいさつする上山根晴久会長



農業経営を支援!

くにびき農業青色申告会総会開催

くにびき農業青色申告会（野津明会長66名）は6月20日、松江ニューアーバンホテルで通常総会を開催しました。

当日は、会員やJA、税務署の関係者など22名が出席。冒頭、野津会長は「今年も引き続き税務署など関係機関と連携し、研修会を開催する予定。正しい申告納税を進めるためにも多くの会員の参加をお願いしたい」と挨拶。続いて、松江・安来地区青色申告会連合会の金森允美会長が「来年10月から消費税が10%に引き上げられると同時に、軽減税率制度が実施される。制度をしっかりと理解し、早めの対応を心掛けてほしい」と呼びかけました。

総会では、野津会長が議長に選任され、2017年度の事業報告や2018年度の事業計画（案）と収支予算（案）など全議案が承認されました。また役員改選も行われ、野津会長と石倉由美子副会長が再任、安達和朗さんが副会長に新任されました。

総会開催前には、松江税務署の北村徹記帳指導推進官を講師に招き、税務研修会を実施。講師から軽減税率及び税制改正についての説明を受け、正しい申告の重要性を再認識していました。



挨拶する野津会長



総会の様子

- 【新役員】（敬省略・地区名・再任・新任）
- ▼会長 野津 明（生馬・再）
 - ▼副会長 石倉由美子（大野・再）、安達 和朗（鹿島・新）
 - ▼理事 田久和武志（乃木・再）、木村 彰（鹿島・新）
 - ▼監事 荒川 陽一（乃木・再）、小川三喜夫（竹矢・再）

平成30年産水稻化成肥料の品目集約を行い、数量を積上げ生産資材価格の低減に取り組んでいます

～くにびき地区本部の取り組み～



JAグリーン・グリーンショップ情報

JAグリーン：つだ・かわつ
グリーンショップ：ふるえ・やくも・たまゆ・しんじ・東出雲



ハナエチゼン・きぬむすめ（一般タイプ）従来品
NK化成C-12号

店舗価格
2,084円(税込)

穂肥の時期におすすめ!
約18%お得

【JAしまね品目集約銘柄】 化成肥料17-0-17



（一般タイプ）



店舗価格
1,706円(税込)

（単位：kg/10a）

品 種	総量	穂肥1回目	穂肥2回目
ハナエチゼン	25	15	10
きぬむすめ	25	10	15
コシヒカリ	15	10	5

*総量は、従来品と同じ総量です。
*詳しくは、稲作ごよみをご覧ください。

日頃の感謝をこめて 夏の還元セール!

〈3日間限り〉
7/20(金)・7/21(土)・7/22(日)

一部商品は対象外です。
(産直商品・たばこ・松江指定ごみ袋・米用紙袋ほか)

全品10%引き
7店合同企画
店頭価格から



コシヒカリ（一般タイプ）従来品
味穂

店舗価格
2,278円(税込)

約25%お得

地域の活性化に向け、取り組んでいます

～くにびき地区本部の取り組み～

子育て応援イベント開催 家族で食・農・自然を楽しむ

くにびき地区本部は6月23日、住宅ローンの利用者を対象とした「子育て応援」イベントを開催しました。子育て世帯の多い住宅ローン利用者に、「食・農・自然」体験に参加してもらい、取引深耕につなげることを目的に実施したものです。

当日は、33世帯114名が参加し、昨年11月に地区本部前の花壇に植えたタマネギを収穫する班と、食用ハーブの寄せ植えをする班に分かれて作業を開始しました。

「タマネギの収穫体験班」では、JAの営農指導員から「長期保存には、根を切り、葉を15センチほど残して4玉ずつ縛ってつるしておいしい」と指導を受けた後、丸々と育ったタマネギを和気あいあいと収穫していききました。

また、「食用ハーブの寄せ植え体験班」は、教育文化センターSan・san館で、観葉植物や雑貨の販売する大庭町の「デコレ」のスタッフが講師となり、家族で協力しながら、12種類のハーブの中から3つを選び丁寧に植え付けました。

その後、参加者は営農総合センター2階に移動し、乃白町のカフェ「ハウス」が作った、収穫したタマネギ入りのハヤシライスが振る舞われ、参加者は舌鼓を打ちました。

閉会后、参加者の見送りに、JAバンクのキャラクター「ちょリス」が現れ、グッズを配布。子どもたちは嬉しそうにハイタッチをして帰路につきました。

参加者は「タマネギが、ずっしりと重たくて驚いた。こんなに大きいものを見たことがない」「ハーブは上手に育てて料理に使いたい」と笑顔で話しました。



ちょリスとふれあう参加者



ハーブの寄せ植えに興味深く聞き入る参加者

職員42名が松江市消防団員 消防操法大会で 副賞にホースを贈呈

玉湯方面団がW優勝

消防団員の消防技術向上と体力気力を鍛錬する目的で、「第7回松江市消防操法大会」が6月24日、島根県消防学校で開催されました。くにびき地区本部は、消防団の活動に役立ててもらおうと、毎回優勝チームに副賞としてホースを贈呈しています。

大会には、消防車からホースをつなげて放水する「ポンプ車の部」と、ポンプに1本のホースをつなげて放水する「小型ポンプの部」に、合計14チームが出場。号令から放水での倒すまでの時間や、動作の正確さなどを競いました。

審査の結果、「ポンプ車の部」、「小型ポンプの部」共に玉湯方面団が優勝。表彰式で、越野浩昭企画総務部長が、チームの代表者に副賞のホースを手渡しました。

玉湯方面団で、班長を務める土屋知久さん(35)は「指揮者になって初めての優勝。週4日各2時間の練習成果だと思う。頂いたホースを使うことがないよう、火事の予防を促していきたい」と語りました。

7月29日に雲南市で開催される県大会には、優勝チームの他に「ポンプ車の部」2位の宍道方面団と「小型ポンプの部」2位の宍道方面団、3位の松江橋南方面団が出場します。



放水の技術を披露する消防団員



副賞のホースを贈呈する越野企画総務部長



優勝した玉湯方面団

住宅ローンの有利性をPR！ 業者へ向けた住宅ローン 説明会を開催

利用者と密接な住宅業者にJA住宅ローンを理解してもらい、連携強化を図ろうと6月21日、くにびき地区本部営農総合センターで「JAしまね住宅ローン説明会」を開催しました。

県下を三つの会場に分け東部会場として開催した当日は、38社より74名が出席。冒頭、地区本部の川上悟司副本部長が「自信を持って提案できる商品を準備している。住宅ローン利用者を対象とした、子育て応援イベントも好評であり、今後も多くの方にJAを利用していただけるよう努めたい」と挨拶。その後、ローン営業センター職員が、商品の内容や有利性を説明しました。

また、税理士法人錦織会計事務所の吉田道夫税理士が「住宅営業マンのための住宅減税制度のポイント」について講演。住宅ローン控除制度の概要や損をさせないための知識をQ&A方式で、事例を挙げながらわかりやすく解説しました。

参加者は「JA商品の有利性がよく理解できたので、営業に活かしたい。今後もしっかりと話をしたい」と話しました。



ホワイトボードを使って説明する吉田税理士

くにびき女性部がお届けする 松江に伝わるふるさと料理

松江に伝わる郷土料理を次代へ伝承していくため各地区のメニューを季節ごとに紹介します。



ところてん（心太）

ところてん（心太）は、テングサをゆでて煮溶かし、冷まして固めた食品です。それを「天突き」とよばれる専用の器具を用いて、押し出しながら細い糸状（麺状）に切った形態が一般的です。

島根町では「仏様の鏡」といわれ、盆の間、前日までに作っておいたものを井戸水などの冷たい水に浸しておき、鏡に見立てて大きく四角に切り、里芋の葉にそのまま載せて供えます。仏様のゴツオ（御馳走）ともいい、必ず供えます。

【材 料】（4人分）

・テングサ……………20g ・酢……………10cc ・水……………1200cc

【作り方】

- ①テングサをよく洗う。
- ②鍋に1200ccの水を入れ火にかけ、ぬるくなったら①のテングサと酢を入れる。煮立ったら弱火にして30分程度煮る。この時水分が蒸発するので蓋をする。
- ③煮汁にとろみが出たら、さらし布等でこす。
- ④こした煮汁を容器に入れて粗熱を取って冷蔵庫で冷やす。
- ⑤固まったら、ところてん突きの大きさに合わせカットし、押し出す。
- ⑥味付けは黒蜜やきなこ、酢醤油、辛子醤油、ワサビ、シヨウガなどお好みで。



今月の料理人

島根支部
金津 順子 さん（右）
山根美佐子 さん（左）



こしたテングサを使って1～2回は再利用できますよ。ところてん突きがない場合は包丁で細長く切りましょう。青ジソ、レモン、ミョウガ等、季節の風味をあしらうと一層美味しく召し上がれます。

参加者募集!

サン●サン 料理教室

日時

2018年8月28日（火）10：00～14：00
※定刻より開始しますので、時間に余裕をもってお出かけください。

場所

くにびき地区本部
San・san館
松江市西川津町1635-2

「乳和食」で減塩食生活! 予想を超えたおいしさで食塩の少なさに、きっと驚くでしょう。「乳和食」レシピ考案の小山浩子氏に学びます。



8月のメニュー 今日から始める「乳和食」レシピ♪

- ★カッテージと乳清 ★乳清ごはん
- ★かぼちゃのミルクそぼろ煮 ★鮭の塩麹漬け焼き
- ★ふわふわがんもどき ★減塩みそ汁
- ★わかめときゅうりの酢の物 (都合により変更させていただくことがあります)

募集人数 30名程度

組合員、利用者、松江市民の方を対象に募集します。
(応募者多数でご参加いただけない場合は8月20日までにご連絡します)

参加費 1,000円 (当日申し受けます)

準備品 エプロン・三角巾・マスク・筆記用具など

申込締切 平成30年8月17日（金）

お申込み/お問合せ

①住所②氏名③電話番号をご記入の上、はがきまたはFAX、Eメールでお申込みください。

〒690-0823 松江市西川津町1635-1

くにびき地区本部企画総務部ふれあい課・サンサン料理教室係

TEL：(0852) 55-3018 FAX：(0852) 32-6870

E-mail：community-affairs.kun@ja-shimane.gr.jp

くにびき女性部員の皆さまへ！
「マンモ乳がん検診」
 のご案内

日 時：8月30日（木）9：00～14：30
 会 場：JAしまね くにびき地区本部
 教育文化センター San・san館
 料 金：500円 ※検診当日、お持ちください。
 申込締切：8月10日（金）まで



★マンモグラフィ（乳腺・乳房専用のレントゲン）による乳がん検診です
 乳がんの早期発見、早期治療を目的として、マンモグラフィ装置を搭載した検診車にて乳がん検診を実施します。※自己検診指導も行います。

★時間予約制です
 午前・午後の希望を申込用紙に記入ください。後日お一人ずつ受付時間を設定し、8月20日頃に書面にてお知らせします。（検診は10分程度で終了予定です。）

★女性部員だけの特別料金です。
 1方向撮影（内外斜位方向撮影） 4,200円
 2方向撮影（内外斜位方向撮影） 6,300円
 のところ どちらも500円で検診できます。

★ポイントがたまります
 健診当日に「JAしまね総合ポイントカード」をご提示いただくと、20ポイントが付与されます

お問い合わせは

JAしまねくにびき女性部事務局 企画総務部 ふれあい課
 TEL：0852-55-3018 FAX：0852-32-6870

※お申込みは、専用の用紙にて、ご提出ください。専門の用紙はふれあい課にてご用意しております。定員になり次第、締め切りとさせていただきます。

くにびき地区本部 農機・自動車

夏の 合同展示会

日時 2018 7/21(土)・22(日) 9:00▶16:00 9:00▶15:00

開催場所 農機・自動車センター 松江市西川津町1635-7 (JAしまねくにびき地区本部前)
 農機センター Tel 0852-55-3066 自動車センター Tel 0852-55-3077

ご来場記念品
 ご成約記念品
 プレゼント!!

おもてなし 企画 **カキ氷 無料サービス!!**
※両日も無くなくなり次第終了とさせていただきます。

自動車センター 休業のお知らせ
 自動車センターは下記の期間を休業とさせていただきます。
 休業期間：8月11日（土）～8月16日（木）

大変ご迷惑をおかけいたしますが、ご理解のほどよろしくお願ひします。

JAしまね くにびき 地区本部 お便りコーナー

たくさんのご意見、ご要望をありがとうございました。いただいたおハガキの一部をご紹介します。

道の駅の産直売場を見るのがたのしみのひとつです。「島根のいいもの再発見!!」を読むとその生産者の方々の苦労がとてよくなり、わかりました。（K・Mさん）

「健康散歩」今回は睡眠についてでした。このところ暑くなり、寝苦しい夜が続いています。参考にさせていただきます。これから夏に備えます。皆様もご自愛ください。（N・Mさん）

「しまねのうれしびり」の炊き込みご飯には今が旬のグリーンピースとホタテの組合せがとてよかったです。ね。切り抜いて、料理ノートに加えてもらえたら、早速作りたいと思います。（T・Mさん）

くにびき青年連盟のいちご婚開催を読み、とても良い企画だと思いました。いろいろな野菜や果物、農産物でこのような企画をしていただき、縁が増えることを願っています。（T・Yさん）

8月 くにびき地区本部 各種相談会カレンダー（税・ローン） ※各相談とも無料でお受けしています。

日	曜日	相談会内容	場所・時間
2	木	税務相談会	法吉支店 (TEL: 21-3690) 10:00~12:00
3	金	税務相談会	中原店 (TEL: 21-2567) 10:00~12:00

○くにびき地区本部金融共済部ローン営業センターでは、毎週土曜日（10:00～15:00）に休日住宅ローン相談会を開催しています。要予約。
 ◆お問い合わせは ☎0120-988-380 まで。

8月 ふれあい訪問日 8月16日(木)・17日(金)



タマネギ

のまきどきと 上手な苗作り

板木技術士事務所 ● 板木利隆

タマネギはあまり早くまき過ぎると冬に入る前に大きく育ち過ぎ、低温に感応してとう立ちする 경우가多く、失敗しがちです。適正なまきどきは早生種9月上旬、中生種9月15日前後、晩生種9月20日ごろです。

タマネギは土壌の酸性に弱い(最適pHは6.3~7.8)ので、苗床の予定地は早めに石灰を施し、20cmぐらいの深さによく耕しておきます。

苗床は幅80~100cm、高さ15~20cm(低温地では幅を狭く、高さを高くする)とし、あらかじめ化成肥料を全面にまき、深さ15cmぐらいに耕し込んでおきます。

種まきは床面をきれいにならして、3.3平方メートル当たり40ml内外の種を均一にばらまきます。その上に草木灰を種が見えなくなる程度に掛け、さらにそれが見えなくなる程度にふるいで土を均一に掛け、板切れなどで軽く押し付け、鎮圧します。その後細かく砕いた完熟堆肥、またはもみ殻で土が見えなくなるぐらいに覆います。そしてたっぷり灌水(かんすい)し、稲わらで全面を覆い、強い降雨や、強日光による乾燥を防ぎます。

通常6~7日で発芽しますから、全体に発芽し1~2cmに伸びたら、被覆していた稲わらは取り除きます。乾いていたなら全面にたっぷりジョウロで灌水し、そ

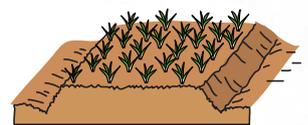
ろった発芽を促します。

草丈が3~4cmに伸びた頃、密に生えたら間引き、1.5cmぐらいの間隔にします。間引きの後、少量の化成肥料を追肥し、ふるいで土を掛けて土入れします。

苗が7~8cmの丈になった頃、前と同様に第2回の追肥をします。

この頃は秋雨が降り続くことが多く、葉の一部がぼんやりと黄化するべと病が発生しやすいです。この苗床で発生を許すと春先になって本畑で多発しやすいので、早いうちに適応薬剤を、展着剤を加えて散布し、完全に防除しておきます。

11月上~中旬になり苗の大きさが草丈20cm内外、太さが5~6mmぐらいになったら畑に定植します。苗取りは、床が乾いていたなら十分灌水し、根をできるだけ切らないよう、大きい株からできるだけそろえて引き抜きます。こうすれば本畑での早い活着は請け合いです。



草丈3~4cmの頃、混んでいる所を間引く

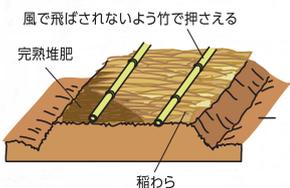


間引き後、化成肥料を少々ばらまき、ふるいで土入れする



種まき。種が見えなくなるくらい覆土する

ふるいで均一に振り掛ける



風で飛ばされないよう竹で押さえる

完熟堆肥

稲わら

ハチを見かけたら巣づくり警報!

無料調査

ハチ
駆除

近寄らず、触らず!!
ハチの駆除はプロにお任せください。

ハチの駆除をご希望の方は
最寄りのJAまでご連絡ください。
JAしまね取扱業者(株)コダマサイエンスの
地区担当者が訪問させていただきます。



お問い合わせ先
最寄りのJA各支店・支所
にお問い合わせください

取扱業者 (公社)日本しるあり対策協会企業登録(鳥根県002・鳥取県002)
Kodama 株式会社 コダマサイエンス
■本社 / 鳥根県松江市西塚島2-8-23 ☎0852-43-0852
■松江営業所 / ☎0852-26-6757 ■江津営業所 / ☎0855-52-6852
■益田営業所 / ☎0856-22-5390 ■隠岐営業所 / ☎08512-2-2471

JA共済から

新登場!!

新しい保障に関するお知らせです!!

もしものアクシデントで

働けなくなったらどうしよう…。

働けなくなったときの生活に不安があるアナタ!!

JA共済から働けなくなった方のための保障が新たに登場しました!!



JA共済の資料請求はこちら!

あなたにぴったりの共済をみつけよう!!
お気軽にご利用ください。

こちらからアクセス▼

はじめて共済 検索
<http://shiryo.ja-kyosai.or.jp>



組合員からの情報提供窓口について

当組合の監事は、経営の健全な発展に資するため、農協法（法第35条の5）および農協法施行規則（第81条）に基づき、理事の職務の適正な遂行を阻害する行為に関する情報（組合経営に関する事象に限る）の提供を受付けています。

当組合理事の組合経営に関する気になる行為について、封書またはEメールにて右記宛に連絡くださいますようお願いいたします。

鳥根県農業協同組合 監事会

連絡先：住 所 〒690-0887 松江市殿町19番地 1
Eメールアドレス kanji.hon@ja-shimane.gr.jp
部 署 名 監査部
受 付 監 事 常勤監事

※当組合の業務に関する一般的な苦情については、担当部署または支店で受付けていますのでご利用ください。

※ご好意による情報提供であっても、誹謗・中傷に類似する内容のものは受付いたしかねますので、予めご了承ください。

鮎ごはん



焼き鮎、みょうが、青しそ、ごまの組み合わせでさわやかな炊込みご飯です。鮎の香りが口の中に広がります。

●材料（4人分）

鮎……………2尾	みょうが……………2個
塩……………小さじ1/2	甘酢
干しいたけ……………3枚	酢……………大さじ2
生姜……………1かけ	砂糖……………小さじ1/2
米……………2カップ	塩……………小さじ1/5
水……………	白ごま……………小さじ1
しいたけの汁……………60cc	青しそ……………5枚
酒……………大さじ2	
しょうゆ……………大さじ1と1/2	

●作り方

- ①みょうがは縦半分に切り、さっと湯に通し甘酢につける。
- ②しいたけは水で戻す。
- ③鮎は肛門から糞を出し水洗いして水を拭き塩をふり焼く。
- ④米は洗い、しいたけの戻し汁を入れ30分置く。
- ⑤しいたけ、生姜は千切りにする。
- ⑥炊飯器に米、酒、しょうゆ、しいたけの戻し汁を入れ炊飯器の水メモリ2の所まで水を入れ、しいたけ、生姜、鮎を入れ炊く。
- ⑦炊けたら鮎ごとざっくりと混ぜ、茶碗に盛り青しそとみょうがの千切りを乗せごまをふる。

（苦いのが苦手な人は混ぜる時、鮎の頭は捨ててください。）

あっさりゴーヤチャンプル



肉、卵を入れれない夏に合うあっさり味です。市販のゴーヤチャンプルの素がなくても、かつお節としょうゆのみで簡単味付けです。かつお節を沢山入れるのがポイントです。

●材料（4人分）

ゴーヤ……………1本	ごま油……………大さじ1
ツナ缶……………1/2缶	しょうゆ……………小さじ1弱
木綿豆腐……………1/3丁	かつお節……………20g
にら……………1/2束	(手づかみ2はい)
もやし……………1/2袋	

●作り方

- ①ゴーヤを縦半分に切って種とワタをとり、1cmに切り塩もみし、水洗いする。
- ②にらは5cmに切る。
- ③豆腐はザルの上のせ20分おく。
- ④フライパンにごま油を入れゴーヤ、にら、もやし、ツナ缶の順に炒める。次に豆腐を加えずしながら炒める。
- ⑤しょうゆを入れる。
- ⑥かつお節を入れ混ぜずぐ火を消す。

表紙紹介

表紙のイラストは野々村 直通 (ののむらなおみち) 先生に描いていただいています。

今月の表紙は、大社町稲佐の浜にある弁天島です。出雲大社の西方1kmにあり、「日本の渚・100選」にも選ばれているこの海岸は、旧暦10月に行われる神迎神事(かみむかえしんじ)の舞台でもあります。弁天島には、豊玉毘古命(とよたまひこのみこと)が祀られています。稲佐の浜は西向きのため、夕暮れ時には美しい夕日を眺めることができます。

編集後記

稲佐の浜は、子どもの頃よく海水浴に訪れていた思い出の場所です。当時の記憶では弁天島は海に浮かんでいたのですが、砂の堆積などにより、今では島の後ろまで歩いていけるようです。月日の経過とともに風景は刻々と変化しています。今しか見ることができない景色を、できるだけたくさん見ておきたいですね。(和)

【今月の表紙の原画】

レイアウトの都合により表紙のイラストは原画の一部表示となっています。原画の全体は次のとおりです。

